県会議員　奥村のり子　の
しんぶん赤旗　読者ニュース
2017年9月24日　第283号

――奥村のり子生活相談所――
〒640-8212　和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎＆ＦＡＸ　073－４２７－７１２１
Ｅメール　w-jcpken@naxnet.or.jp

解散・総選挙で超多忙になります。

一般質問の前日にこのニュースの原稿をつくっています。少々寝不足です。県議会中ですが、国会の冒頭解散の動きでさまざまなスケジュールに影響が出ています。公私とも10月はいろいろな行事が入っていて大変です。

しかし、アベ政権を追いつめた結果の選挙であり、政権を変えるチャンスです。

一般質問でも取り上げますが巨大太陽光の発電計画問題でも市駅前開発の問題でもそして社会保障の問題でも国の政治の問題が大きくかかわっています。

県民による、県民のための政治実現のため、全力でこの総選挙をたたかって参ります。ともにがんばりましょう。

アベ政権倒すチャンス 総選挙に全力を尽くそう

みなさんいささかビックリですね。9月28日に召集予定の臨時国会の冒頭にナント衆議院を解散する意向でアベ首相は腹を決めたそうです。いわゆる「仕事人内閣」は実績もなく2カ月でクビ。もともと来年6月に改憲発議をしてそのあと解散という筋書きだった。しかし、改憲後の選挙では勝てる見込みがない。そこで改憲に必要な3分の2超の議席を持つ時期にやりたいと模索。急落していた支持率も一定回復し、しかも民進党が混乱し、野党共闘に一部後ろ向きな議論を見て「今なら勝てる」との党利党略なのです。

臨時国会で森友・加計問題が再燃し憲法9条問題で国民的批判が起こればこれも困るので臨時国会の冒頭解散で「疑惑隠し解散」という憲法違反むき出しです。森友・加計疑惑をはじめ共謀罪も途中で審議打ち切り、自衛隊の日報問題も大臣のすげ替えだけで真相解明はしない。北朝鮮問題は「圧力」をブツだけの暴走政権。

共産党は早くから「すみやかな解散・総選挙で審判を仰げ」と訴えてきました。だからアベ政権を倒す歴史的チャンスです。さっそく全党へ「勝利に向け勇躍して総決起しよう」との緊急訴えを発表しました。赤旗読者の皆さん。総選挙は最短で10月10日公示、22日投票となりそうです。何卒大きなご支援を心からお願い申し上げます。

のり子の週刊日誌（主なもの）

9月22日　本会議、会議
23日　常任委員会／決算委員会準備、河北後援会宣伝
24日　メガソーラー対策会議
25日　常任委員会、懇親会、河西無料生活相談
26日　常任委員会、生保裁判
27日　本会議
28日　本会議、市駅前事務所無料生活相談
非核の政府を求める県民の会

リレートーク　Relay talk　リレートーク

党市議会議員 中村あさと

子どもアンケートから

さまざまな実態がわかり議会で質問

この間日本共産党市会議員団は保育所・幼稚園に関するアンケート調査を行い、どのような保育環境が望まれているのか。また、市が進める認定こども園整備計画がどの程度認識されているのかなど調査を行いました。

アンケートを回収する中で、特徴的だったのが、子どもの主体性を中心にした保育が望まれていることや、公立保育所・幼稚園が統廃合される事による不安、保育士の処遇改善を求める自由記載の書き込みが非常に多くありました。

アンケートの結果、希望通りの入所が適わない状況が少なからずあり、潜在的な待機児童の実態がみてとれます。年々増加する待機児童とあわせて改善が求められます。

また、自宅や職場から近い施設を求めている回答が圧倒的に多く統廃合により自宅などの近くに施設がなくなれば、困る方が現れる事が危惧されます。

また、認定こども園については、よく知っていると答えた方は18％となっています。より良い保育環境を進める上で、公的保育の充実による環境整備の方策の示すとともに周知する必要があります。

認定こども園の整備計画については、進めるべきと答えた方は22％となっています。制度の認知が不足している状況で、施設の統廃合を進めれば、より良い保育環境の充実の生涯となります。

9月定例市議会の一般質問は、党議員団に寄せられたアンケートを元に行い市の姿勢を質しました

リレートーク　Relay Talk

巨大太陽光発電計画地の 地形・地質・土砂災害の学習会

◆土砂災害の危険について
◆千手川の特色と災害
◆この地区の地質の特色と断層について
こんなことを学びましょう

◆とき
10月7日（土）
午後2時～4時
◆ところ
北コミセン
2F多目的ホール、直川326－7
（和歌山市さんさんセンター紀の川内）

講師
中屋志津男　氏
南紀熊野ジオパーク推進協議会学術専門員、元和歌山県立高等学校地学教諭。滝畑産廃計画地を調査し新たな湧き水を発見